

令和3年 第19回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日時 令和3年(2021年)12月24日(金)午後2時00分～午後3時30分

2. 場所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	瀧川 光治
教育委員	江原 礼子	教育委員	西岡 奈美
教育委員	太田 洋子		

<事務局>

教育総務部長	馬場 一憲	保健体育課長	中江 洋忠
学校教育部長	早崎 潤	スポーツ振興課長	関口 里絵
こども未来部長	大野 浩史	総合教育センター所長	永嶺 香織
生涯学習部長	綾野 昌幸	学校指導課主幹	日外 亮
教育長付参事	下笠 正樹	小学校給食センター所長	鴨川 憲之
こども未来部参事	岡田 章	教育政策課長	石田 亮一
学校教育部副参事	廣重久美子	教育政策課主任	中谷 克也
職員課長	福本 恭	教育政策課主任	大東 良太

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 なし

6. 議事

(1) 開会宣言 木下教育長(午後2時00分)

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 令和3年第18回定例会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第57号の審議

日程第 4 議案第58号の審議

木下教育長より「日程第3については、個人情報を含むため、また、日程第4については、人事に関する案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

日程第3及び第4は非公開の秘密会となる。

(3) 令和3年第18回定例会会議録の承認（日程第1）

令和3年第18回伊丹市教育委員会定例会（令和3年（2021年）11月26日（金）開催）会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第3）

教育総務部長より「12月分人事報告」・「11月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「11月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部及び市立伊丹高等学校の、こども未来部長よりこども未来部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の「11月分行事実施報告」・「11月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員 5点質問がある。まず1点目は、いじめ防止フォーラムについて、小学校の参加は1校のみだったがなぜか伺う。2点目は、初任者訪問指導についての成果と課題について、また、特にメンタルに課題を持っている教員について伺う。3点目は、ひきこもり講演会について、参加者の反応はどうか伺う。4点目は、幼児教育センターの自主勉強会について、4月からゼロが続いているがどう捉えているか考えを伺う。最後5点目は、だんらんホリデーについて、取り組み内容で変わってきたことはあるか伺う。

学校教育部長 1点目について、小学生を参加させることが新井教授との話で急遽約1か月前に決定した。中学生は過去からも参加していたが、小学生の参加は、今回初めてであるため、小学校の校長が委員になっている学校に、参加をお願いした。今後、小学生の参加は幅広く考えていきたい。

江原委員 いじめ防止の機運を高めようと思うと複数校の参加が必要だと考えている。中学校はオンラインも活用していたため、そのノウハウも広めて参加を増やしてもらいたい。

学校教育部長 2点目について、授業面はまだまだ課題はあるが、各校とも初任者を育てるというあたたかいサポート体制はできている。授業面の課題を解決するため、3学期についても継続して行っていく。また、市の初任者研修が3月にあるため、マイスターによる師範授業を行っていく。休んでいる教員は6月からとなっており、現時点では、2月復帰を目指している。今度も学校長との連絡は密にとり、支援を行っていく。

江原委員 各校を回っている中で、サポート体制ができてきていると感じている。その体制を今後も継続し、また、小学校英語教員の育成にも生かしてもらい

たい。

こども未来部長

3点目について、アンケートをとり、16件の回答をもらっている。主に、家族や親族の参加が多く、広報いたみや自治会経由で行ったチラシを見て知った方が多かった。アンケート結果より、講演内容について、15件が大いに参考になった・参考になったと回答がきている。同様に、グループ討論についても、15件が大いに参考になった・参考になったと回答がきている。自由記述として、「当事者の話が聞けて良かった。」「今後もっと勉強したい。」などの感想があり、参加者にとって有意義な時間であったと感じている。しかし、ひきこもりの性質上、この講演会に参加するまでが難しいと考えているので、そこはまだ課題がある。

次に、4点目について、夜に自主的に集まる場所を提供しているが、このままの状況ではゼロが続く可能性もある。今年度、幼児教育推進課で保育環境を考える会を立ち上げる予定で募集を行っていたが、コロナの影響で止まっている状況である。来年度は仕切り直して、テーマも検討し実施していきたいと考えている。

木下教育長

そもそも夜間の時間帯が難しいのではないかと。自主的に集まれるようなしつけが必要ではないか。

こども未来部長

やはり夜の時間は難しいと考えているが、昼の時間も会議等があり、参加は難しい。今年度実施を考えていた会については、10名ほど募集はあった。やはり興味をひくテーマが重要だと考えている。

木下教育長

先日保育所を訪問した際に感じたことだが、OJTについても、お昼寝の時間を活用して工夫してやっている。瀧川委員が作られた3つの柱に基づいた振り返りシートを使って見直していると聞いた。今後は、公立・私立等も含め保育所全体の保育の質を向上させ、伊丹市としての保育を底上げしていかなければならない。

瀧川委員

幼児教育ビジョンを勉強会のような形で、作られた先生に来ていただき、年に複数回開催し、キーワードの「愛情」「言葉」「自然」がどれだけ大事なのかということを講義してもらおう。また、毎回テーマを変えるのではなく、民間園も含めて1年のうちのどこかで参加し触れてもらうことが大事だと考えている。

太田委員

幼児教育センターが企画等していくと思うが、幼稚園に支援等行って大変な状況だと感じている。本来は出前講座や私立園等にも直接行くのが良い

と思うが、現状では難しいのではないか。

こども未来部長

アドバイザーがやりくりを行い、とにかく訪問を維持していくよう動いている。実際、数をキープするのは難しいかもしれないが、今までの蓄積があるので、数だけではなく質も含めて入り込んでいけると考えている。

生涯学習部長

5点目について、早寝・早起き・朝ごはんはだんらんホリデーのチラシやすくすくぐんぐん伊丹っ子、教育いたみの広報紙にコラムを掲載している。また、就学前の家庭教育学級の中で子どもの基本的な生活習慣を身につけることを目的に紙芝居などを活用し、保護者向けに啓発を行っている。10月のだんらんホリデーのイベントでは、食育ということで「正しいお箸の持ち方」を題材に、ことば蔵でイベントを開催した。スマホやゲームの影響で寝る時間が遅くなっていることなどもあるので、今後も情報発信を行い、啓発活動を続けていく必要があると感じている。

江原委員

家庭との連携を考えた内容を啓発していくことは重要である。今後も引き続き、家庭との連携の中で課題となっていることをチラシに盛り込んでいってもらいたい。

太田委員

生徒指導担当者会について、コミスクに参加すると、長期欠席や不登校が増えているという声をよく聞くが、解決策が見つからないまま終わってしまうことがある。数に惑わされずに、一人ひとりよく見て対策を考えていかなければならない。このままいくと来年も増えてしまうのではないかと考えられるが、なにか学校に対して指導や対応していることはあるか。

学校指導課長

総合教育センターとも協力し、不登校対策のチームを組み、毎月状況の把握や各校に訪問する際の観点等の情報共有を行っている。また、学校訪問に行った際に、支援員を配置したことでの状況等の聞き取りを行っている。特に、小学校については、支援員を配置したことにより不登校の数は鈍化してきている。中学校については、11月は鈍化していたが、12月はやや増加傾向にある。支援員からの働きかけを今後も継続していく。

太田委員

個別の指導計画の作成について、教育長からの説明にも出ており、実際の計画を確認していき、また、個別にきっちりと対応していくことで、確実に数を減らしていくことが必要であるので、学校に指導していってもらいたい。

次に、体力向上推進委員会について、先ほど具体的な対応が出たと説明さ

れたが、どのような具体策が出たのか。

保健体育課長

持久力、瞬発力が課題であり、各学校でどのような取り組みができるかという点を話し合った。具体的には、持久力向上に向けて、各学校で取り組んでいくことになるが、学校任せになってしまうと差が出てきてしまう。小学校及び中学校体育研究会を中心として、共通理解を図り、心拍数が上がり、負荷のかかるような取り組みをしていく。また、各学校において課題が違ってきている。今回課題が多かった学校には個別で学校訪問を行い、具体的な対策を話し合った。実際に2学期から休み時間を活用し、サーキット運動や、子どもたちがボールを投げる場を作るなど行っている。3学期早々に体育担当者会があるので、その場においても学校間の情報共有を行っていく。

太田委員

成果がでていいる学校については、事前に運動の目的をしっかりと説明し、先生と一緒にやっているなど、なにか取り組みを行っているの、そういった情報を広めていってほしい。

次に、土曜学習について、南小、伊丹小、緑丘小がオンラインで昆虫館とつながり土曜学習を行い、先ほど天神川小がこども文化科学館とオンラインでつながったと説明があった。学校間での差が大きいと感じるが、学校に対してどういったアピールをしているのか。

生涯学習部長

学校に配置しているコーディネーターの差が出てきているのではないかと感じている。今後、オンラインも活用してもらおうよう働きかけを行っていく。

こども未来部長

こども文化科学館についても、学校に働きかけを行っているのではなく、今回も学校のほうからお声がけいただいた。アウトリーチについては、元々スカイパークに出かけるなど行っていた。

太田委員

社会文化施設は多数あるので、今後はそういったアウトリーチをどんどん推進し、教育委員会としてもアウトリーチできる講座等のリストを作成し、わかりやすく提示してほしい。

木下教育長

教育委員の皆さまからの意見を聞いていて、理念だけではなく、行動や実行に移すこと、また、継続することがキーワードだと感じた。

西岡委員

土曜学習のオンライン配信について、アウトリーチではなく施設のほうから日時を指定し配信することはできないのか。できるのであれば、その配信に参加することで土曜学習に参加したことになれば、コーディネーターも前向きに考えるのではないかと。

生涯学習部長 オンラインであれば離れた学校でも対応できるので、前向きに検討していく。

瀧川委員 CAP 講習会について、小学4年生を対象としていて、特色があって良い。しかし、時期的に、コロナの影響もあるかと思うが、クラス作りの視点から考えると春先にやったほうが良いのではないか。また、なぜ小学4年生を対象としたのか。

保健体育課長 例年は1学期から開催しているがコロナの影響があり、この時期に実施している。昨年度は資料を配り啓発を行うだけで、実施できなかった。また、対象については例年、3年生を対象としているが、昨年度実施できなかったことに併せて、講師の方と相談し、低学年より中学年になるにつれ行動範囲も広がってくることも踏まえて、今年度は4年生を対象とした。今年度の4年生を対象にした講習会に効果があると考えているため、来年度も引き続き、4年生を対象と考えている。

(5) 議案第57号の審議（日程第3）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第57号 伊丹市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を可決。

(6) 議案第58号の審議（日程第4）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第58号 令和3年度教育委員会事務局管理職人事異動について」を可決。

(7) 閉会宣言 木下教育長（午後3時30分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子